



代表取締役

角谷 育則

(かどや やすのり)

1975年大阪府生まれ。高校在学中のアルバイト先で、親シューワグループ代表の矢野秀和氏に巡り会い、卒業後5年成長上の矢野氏に誘われる形で実業の世界へ。シューワグループで多彩な経験を通じ、2020年、防災課員を専任とする日本BCP株式会社代表取締役就任。

総合防災・減災企業として 命をつなぐサービスが使命

大震災の教訓を活かし 設立された日本BCP

「手配したんかっ!？」全ては11年前のこの一言から始まりました。2011年3月11日東日本大震災の日、当時私が所属していたシューワ株式会社の会長・矢野秀男氏の言葉です。地震のみならず、洪水の被害が出て地元の燃料屋は壊滅状態。「市民の一人ひとりガド

れだけ困っていることか。日頃燃料を扱っているわれわれが、すぐ東北へ向かう手配はできているのか。」かつて阪神淡路大震災を経験した会長の喝破で、テレビの前で呆然としていた私たちは石油燃料を一刻も早くお届けしようと、小回りの利く自社のタンクローリーを駆って猛然と動き出したのです。

当社日本BCP株式会社は「BCP(事業継続計画)」という社名通り、国内の

あらゆる災害時、素早く電源の確保をするための「石油燃料の備蓄とその輸送」を専門に行う会社です。

内閣府の要請により、11年前のあの日から約3か月のボランティア活動を終えた私たちは、被災地の悲惨な状況を目の当たりにしました。現地の方々の要請もあり、腰を据えてこの問題を解決していくため、シューワグループ内に一部門を創り、さらなるサービスの向上を目

指します。そしてよりの確な支援ができるように願いを込めて、2017年9月1日「防災の日」に当社を設立したので

天災は止められないが 二次被害は止められる

病院、銀行、学校。われわれは燃料が切れたとたんに多くの二次災害が起こってしまう。施設や企業さまと契約を結び燃料を備蓄、いざという時に速やかにそれらをお届けし、総合的な防災と減災を担うことを役目としています。

ご存じのように阪神大震災以来、震度6以上の地震が全国で急増。防災意識は高まるばかりで、お取引先100社以上。放送局、携帯通信キャリア、電力会社など大手企業さまや共同体からも、厚くご支持をいただいています。平時には企業の事業継続に必要な提案を行い、技術者派遣業も手掛ける当社。

われわれの仕事の魅力はなんといっても、社会貢献に直結する仕事だということです。緊急時のための燃料の備蓄を専門に担う会社は珍しく、オンラインの存在として日本の防災環境のレベルアップを担っていきたいと思っています。

仕事人が育てます 誇りある社会貢献を

仕事柄いろいろな場所、多彩な人物に会うことができ、広い視野を養うことができるのも当社の魅力の一つです。資格も危険物取扱者はもちろん、救命講習や簿記1級、ビジネス会計など意外なものまで取得をバックアップし、幅広い経験を積んでいただける環境を整えています。実は私も車の免許は各種、

で揃えていますよ。

若い皆さんなら「まだ目標がわからない」という人たちも多いでしょう。「それでもいい」というのが私たちの方針です。そんな人たちが目覚めてくれる環境をつくるのがわれわれの役目。入社時は何をすべきかすらわからず指示を待つばかり、報告もなかなかできなかった新人の方でも、当社で命をつなぐ仕事を体験するうちに、いつしかできばぎと段どりし、問題点を提起しながら報告も、さらに「私はこうしたいんです」と提案までしてくれるように。そんなときは「お、そうか。任せろ」と嬉しいものです。誰も必ずそんな日がきます。仕事の人が創るのだと私たちは日々実感しています。



▲ 安心安全な社会の創造に寄与することが目的 (大阪本部)



▲ 機動力を誇るタンクローリー

- ▶ 所在地
〒101-0042
東京都千代田区神田東松下町48番地 ism神田2F
- ▶ TEL
03-5289-0223
- ▶ 設立
2017(平成29)年9月
- ▶ 従業員数
170名
- ▶ 売上高
11億3,000万円
[2022(令和4)年7月期]
- ▶ 事業内容
緊急災害時における石油保管および非常用車両の手配など緊急事態発生時に企業の損害を最小限に抑え事業の継続や復旧を図るための計画及び実行、消防法及び建築基準法に基づく非常用発電機の定期点検並びに負荷試験の試験・施工および点検メンテナンス、石油製品の輸入販売、防災用品の販売、人材派遣、外国人技術者派遣
- ▶ URL
<https://www.jp-bcp.co.jp/>

▼ 企業公式サイト

